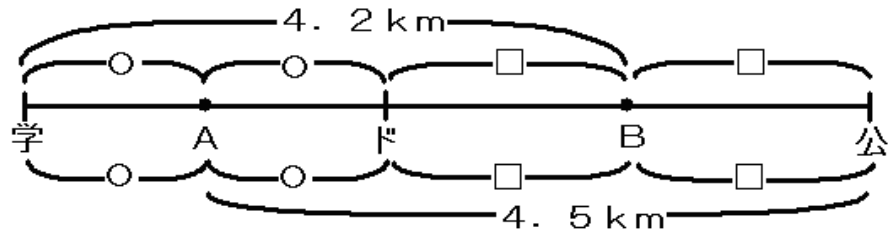


【平成23年度 適性検査Ⅱ 解答例】（古佐田丘中学校）

研究1	課題1	<p>(例)</p> <p>二十世紀に入り、地球の平均気温は上がり続けている。温暖化が進むと、地球全体の気候が変わり、地球で生きるものへの影響が心配されている。これ以上、温暖化が進まないように、わたしたちのできることから取り組んでいかなければならない。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>使う資料の記号 (A) 記事の番号 (2)</p> <p>Aの資料は、ナガサキアゲハという害虫が、1940年に比べ、だんだん北に生息域を広げていることがわかります。このことは、新聞記事にある「日本では、暖かい地方にだけ見られた害虫の被害がほかの地方にも広がったりしている」という内容をわかりやすく伝えています。</p>
研究2	課題1	<p>(例)</p> <p>それぞれの走り方で3kmを走ったときにかかる時間を調べると、</p> <p>走り方①</p> $1 \div 12 = \frac{1}{12} \quad (\text{時間}) \quad 1 \div 10 = \frac{1}{10} \quad (\text{時間})$ $1 \div 8 = \frac{1}{8} \quad (\text{時間}) \quad \text{となり、}$ $\frac{1}{12} + \frac{1}{10} + \frac{1}{8} = \frac{10}{120} + \frac{12}{120} + \frac{15}{120}$ $= \frac{37}{120}$ <p>走り方①では、$\frac{37}{120}$ 時間かかる。</p> <p>走り方②</p> $3 \div 10 = \frac{3}{10} = \frac{36}{120}$ <p>走り方②では、$\frac{36}{120}$ 時間かかる。</p> <p>走り方 (②) の方が早くゴールすることができる。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>学校と地点Aの間の道のりを○km、ドーム前と地点Bの間の道のりを□kmで表すと、</p>



○が3つと□が3つで 8.7 km になることがわかる。
 よって、○が1つと□が1つでは、 $8.7 \div 3 = 2.9$ で、2.9 km になる。

だから、1区は $(4.2 - 2.9) \times 2 = 2.6$
 3区は $(4.5 - 2.9) \times 2 = 3.2$

1区(4区)は(2.6) km、2区(3区)は(3.2) km

研究3

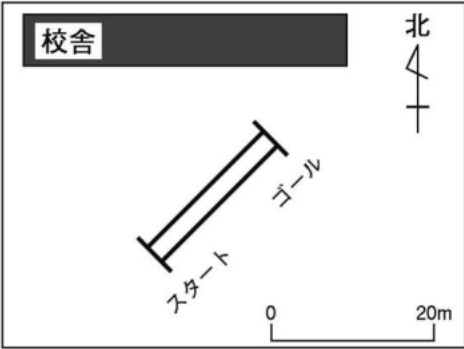
課題1

(例)
 国民の年間収入が増え、さまざまな家庭電化製品を買うことができるようになり、生活が豊かになった。一方で、急速な工業の発展は、空気などをよごし、公害を引き起こした。

課題2

(例)

番号	よさ
①	洗たく物の出し入れが楽にできる。
②	説明書を読まなくても使い方がわかる。
④	たくさんの洗たく物を持っているときでも、簡単にドアを開けることができる。

	<p>課題3</p>	<p>(例)</p> <p>○資料(1)を選んだ解答</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">だれもが楽に上り下りできるように、エレベーターを取り付ける。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">身長などに関係なく利用できるように、階段の手すりを2段にする。</div> <p>○資料(2)を選んだ解答</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">だれも見やすいように、かん板の大きさや位置を工夫する。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">だれもが通りやすいように、障害物のない通路にする。</div>
<p>研究4</p>	<p>課題1</p>	<p>(例)</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>校舎</p>  </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>速く走らせるためには、光電池に日光がよく当たるようにする。そのためには、車の真うしろから日光が当たるようにすればよい。</p> <p>午前9時の太陽は南東の位置にあるので、午後3時の太陽は南西の位置になる。だから、コースは図のような方向につくる。</p> </div> </div>
	<p>課題2</p>	<p>ゼムクリップを多くくっつけると考えられるのは、 (みどり) さんの考えた方法</p> <p>(例)</p> <p>○1. 4倍を使って予想した解答</p> <p>コイルの巻き数を2倍にすると、くっつくゼムクリップの数は、1. 4倍になっている。だから、みどりさんの考えた方法では、カードCの結果から、 $21 \div 1.4 = 15$ (個) くっつくと考えられる。</p> <p>かん電池2個の並列つなぎは、かん電池1個の直列つなぎのときとほとんど同じ強さの電流が流れる。だから、あきらさんの考えた方法では、カードBと同じ数のクリップがくっつくと考えられるから、13個となる。</p> <p>したがって、みどりさんの考えた方法が、ゼムクリップを多くくっつけると予想できる。</p>

	<p>○1. 6倍を使って予想した解答</p> <p>かん電池2個の並列つなぎは、かん電池1個の直列つなぎのときとほとんど同じ強さの電流が流れる。だから、みどりさんの考えた方法では、カードAの結果から、</p> <p>$9 \times 1.6 = 14.4$ (個) くつつくと考えられる。</p> <p>同じように考えると、あきらさんの方法では、カードBと同じ数のクリップがくつつくと考えられるから、13個となる。</p> <p>したがって、みどりさんの考えた方法が、ゼムクリップを多くくっつけると予想できる。</p>
--	--